

## 肺癌における IQGAP3 発現と臨床経過に関する研究 に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2005年1月1日～2017年12月31日に当院で手術を受けられ、肺腺癌、肺扁平上皮癌、小細胞肺癌、大細胞肺癌と診断を受けた方

### 2. 研究目的・方法

本研究では肺癌の新しい治療的として期待される IQGAP3 という蛋白質の腫瘍における発現量を測定します。そして、その発現が臨床経過と関係があるかどうか調べます。上記期間中に名古屋大学医学部附属病院呼吸器外科を受診され、試料提供への同意を頂いた方から手術時に採取した試料を用います。本研究の結果は日本人の胸部悪性腫瘍において IQGAP3 がどれほど発現しているか、また IQGAP3 の発現が臨床経過にどのような影響を及ぼすのかを判断する重要なデータとなります。

研究期間は名古屋大学医学部生命倫理審査委員会による実施承認日から 2023年3月31日までです。名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学教室に所属する教員および大学院生が肺癌と正常組織における IQGAP3 およびその周辺分子の発現量を測定します。さらに、発現と臨床経過との間に相関関係があるかどうかを統計学的に解析します。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。

#### 〈研究組織〉

研究責任者

名古屋大学高等研究院・sYLC 助教・佐藤 和秀

研究分担者（所属・職名・氏名）

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学・病院講師・中村 彰太

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学・教授・長谷川 好規

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学・大学院生・西永 侑子

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学・大学院生・磯部 好孝

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学・大学院生・高橋 一臣

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学・大学院生・安井 裕智

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、パフォーマンスステータス、喫煙歴、組織型、TNM 因子、外科病期、化学療法の有無、無再発生存期間、全生存期間等

試料：手術で摘出した肺腺癌、肺扁平上皮癌、小細胞肺癌、大細胞肺癌の組織および正常肺組織等

試験後の試料や解析データ等は研究終了から 10 年間を経過した後に破棄いたします。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座呼吸器内科学教室

研究責任者： 佐藤 和秀

住所 名古屋市昭和区鶴舞町65

電話 052-744-2167

FAX 052-744-2167